

【社会貢献活動】

■地域住民等を対象にした公開講演会等の開催

本学では、医療系大学の特色を生かし地域市民等を対象に、歯・口腔・身体的健康に関する関心度の高い内容についての講演会等を開催している。

(1) 水道橋キャンパス

歯科医師の役割や口腔ケアの重要性など、近隣住民の皆様を中心とした方々へ歯科についての理解を深めることを目的に、大学機能の水道橋移転後の2014年度から2016年度に市民公開講座として毎年5回、2017年度は一般公開講座として2回公開講演会を開催した。

2017年度までの市民公開講座、一般公開講座開催実績を踏まえ、2019年度より東京歯科大学市民公開講座の名称で新たに公開講演会を開催することとなった。直近の開催実績は下記の通りである。

東京歯科大学市民公開講座

開催日	講 師	テ ー マ
2019. 6. 29	中川 健 教授 (泌尿器科)	泌尿器科で診てもらおうおしっこの病気
2021年 11月頃 HPにて配信予定	片倉 朗 教授 (口腔病態外科学講座)	『歯科診療で「口腔がん」の予防と早期発見を』



2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止となった。2021年度は本学ホームページにて講演動画の配信を予定している。

水道橋病院では近隣住民の皆様や患者様を対象としたロビーコンサートを2017年度より開催し、毎回近隣住民の皆様や患者様から高い評価を受けていたが、現在新型

コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせている。

(2) 市川キャンパス

市川総合病院では、1996年の病院創立50周年の際に創立50周年記念として公開講演会の開催を始め、現在は「市民を対象とした健康講座」の名称で公開講演会を開催している。総合病院の特色を生かして、身近な医療・健康問題を中心にわかりやすく講演することで、近隣市民を中心とした方々に対して、健康維持・増進の一助となっている。直近の開催実績は下記の通りである。

市民を対象とした健康講座

開催日	講師	テーマ
2020. 2. 15	メインテーマ：元気で生き生き過ごせるように！人生100年時代!!～いつまでも快適に見える生活を～	
	福井 正樹 助教 (眼科)	白内障手術で明るい視界、明るい人生
	佐々木 千秋 コーディネーター (角膜センター・アイバンク)	光(ヒカリ)のリレー 角膜移植とアイバンク
	島崎 潤 教授 (眼科・角膜センター) 吉田 佳史 助教 (オーラルメディスン・口腔外科学講座)	眼と口腔の乾燥 ・ドライアイから眼を守る(島崎教授) ・実はいろいろあるドライマウスの原因や症状(吉田助教)



(3) 千葉キャンパス

2006年度より大学機能の水道橋移転後の2016年度まで社会に開かれた大学として、本学の研究成果等を公開し、本学への理解を深めていただくとともに、地域市民へ生涯学習機会を提供することを目的に公開講演会を開催してきた。本講演会は地域市民との連携を深める目的から、千葉キャンパスが所在する千葉市美浜区真砂の関連団体(真砂地区コミュニティづくり懇談会、千葉市社会福祉協議会真砂地区部会、千葉市第31地区町内自治会連絡協議会)との共催で実施してきた。内容については、歯の健康、最新の歯科医療の動向等を中心にわかりやすく講演し、また質問の時間も多く設けることにより聞くだけではなく、知的向上心を持たせるなど、地域市民の方々に好評を得てきた。2011年度からは千葉市、千葉市教育委員会、千葉市科学館の主催

で実施された、科学・技術に関する総合的イベント「千葉市科学フェスタ」においては、本講演会をサテライトイベントとして登録し参画してきた。直近の開催実績は下記の通りである。

東京歯科大学公開講演会

開催日	講 師	テ ー マ
2016. 10. 22	久永 竜一 講師 (クラウンブリッジ補綴学) 永井 由美子 講師 (歯科衛生士専門学校) 江口 貴子 講師 (歯科衛生士専門学校)	子どもの頃からの予防

千葉歯科医療センター（2018年3月までは千葉病院）では近隣住民の皆様や患者様を対象としたロビーコンサートを2012年度より開催し、毎回近隣住民の皆様や患者様から高い評価を受けていたが、現在新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせている。また、七夕やクリスマスなど季節の飾りつけ、OBによる写真の展示などをエントランスホールにて行い、患者様、地域住民向けに、大学附属の診療所・医育機関への理解を深める場としていたが、こちらも現在開催を見合わせている。

■本学附属病院等の地域医療への貢献

本学は、水道橋病院、市川総合病院、千葉歯科医療センター（2018年3月までは千葉病院）の3つの附属病院等を設置し、それぞれ歯科医療及び内科医療の中核的地域医療機関として地域の医療に大きく貢献している。特に歯科の領域では、口腔がん治療、内科疾患等による合併症患者の歯科治療など一般歯科診療所、開業医の支援病院としての役割を担っている。

水道橋病院は、「歯科医師たる前に人間たれ」の建学の精神に基づき、「思いやりの心による医療」を基本理念に、患者様の人権を尊重した安全・安心の医療を提供している。患者様には、全ての病院スタッフが連携し総合的なチーム医療を提供することにより、健康で幸福な生活の実現を目指している。また、近隣総合病院との連携により訪問歯科診療、睡眠時無呼吸症候群患者の受入れ等を行うとともに、地域医療機関との連携を密接にするために「地域医療連携報告会」を毎年10月に開催し好評を博している。

市川総合病院は、日本で唯一の歯科大学附属の総合病院という特性を活かし、歯科・口腔外科と内科診療各科との緊密な連携による診療を実現している。院内に開設されている「東京歯科大学口腔がんセンター」はその象徴的な存在と言える。また、内科領域においても角膜移植、不妊治療などの先端医療をはじめとする高度医療を通じて、一般開業医の支援病院として地域医療に貢献している。地域の医療従事者対象の研修会として「市川リレーションシップ・カンファレンス」等を定期的で開催するとともに、「市川総合病院在宅療養支援ネットワーク協議会」など地域で活動する看護師・介護支援専門医等との連携を図るとともに、在宅療養支援看護師の育成研修を行っている。さらに、災害拠点病院、救急病院、地域がん診療連携拠点病院としても機能しており、市川市のみならず千葉県北西部地域の中核病院として貢献している。高齢化が著しい市川地区における患者のスムーズな退院及び在宅復帰の支援のため、さらには学生教育、歯科医師及び歯科衛生士養成に寄与することを目的に、「東京歯科大学すがの訪問看護ステーション

ョン」を2019年6月に開設し、地域医療の一翼を担っている。また、新型コロナウイルス感染症が拡大している現状で、地域社会から求められる通常診療を行いながら、院内感染の発生に最大限留意しつつ、中等症感染患者の診療を行い、2021年1月29日に千葉県COVID-19「重点医療機関」の指定を受けた。

千葉歯科医療センター（2018年3月までは千葉病院）は、地域の歯科医師会が主体となって実施している口腔がん検診に積極的に協力している。また、地域歯科医療における重要な役割を担うとともに、地域医療機関との医療連携の円滑な実施を図るために、2006年5月より医療連携委員会に千葉県及び千葉市周辺の郡市歯科医師会の代表者を含めた「医療連携協議会」を年2回開催し、毎年7月には地域医療機関との連携を密接にするために「医療連携講演会」を開催しており、2021年度の「医療連携講演会」は2021年8月26日（木）にWEBでの開催を予定している。2008年4月に新設された「摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科」は、他の病院や施設との連携も推進している。

なお、これらの附属病院およびセンターは、年間延べ80万人以上の歯科医療及び医療を行っており、地域住民に多大な貢献をしている。その診療実績は次の表のとおりである。

本学附属3病院等の患者延数（入院・外来）

		水道橋病院	市川総合病院	千葉病院 (現・千葉歯科医療センター)	計
2016年度	入院	3,657	168,611	5,641	177,909
	外来	197,107	355,751	205,466	758,324
2017年度	入院	5,589	161,038	4,731	171,358
	外来	204,443	325,125	197,926	727,494
2018年度	入院	5,232	164,115	2,328	171,675
	外来	212,870	324,901	175,263	713,034
2019年度	入院	5,149	160,107		165,256
	外来	215,705	327,408	126,322	669,435
2020年度	入院	3,605	138,119		141,724
	外来	157,619	293,414	82,836	533,869

※千葉歯科医療センターは2019年4月1日より無床診療所へ変更

■他大学との協定

本学は、慶應義塾大学、大妻女子大学、和洋女子大学と教育・研究において交流を深め、連携をし、それぞれの大学の進歩と発展につながることを期待して学術活動を推進することを目的とした包括的連携協定を締結しています。

■東日本大震災被災地での歯科医療支援

本学は、厚生労働省、日本歯科医師会からの要請を受け、東日本大震災で被災された皆様の口腔ケアを中心とした歯科医療に当たるため、千葉病院（現・千葉歯科医療センター）の歯科医師2名、歯科衛生士1名が2011年4月25日（月）から4月28日（木）まで福島県相馬市、南相馬市を中心として歯科医療活動を行った。

■新型コロナワクチン接種の取組み

本学は、内閣府及び千代田区からの要請を受け、2021年6月25日（金）から8月13日（金）まで千代田区内を対象とした職域接種会場として本学スペースを提供し、本学水道橋病院や市川総合病院の医師、歯科医師、看護師の協力のもと、本学学生、教職員、千代田区内の学校、保育所等の職員（教員、保育士、放課後児童支援員等）等の接種希望者約2,400名に対し、モデルナ社のワクチンを用いた集団接種を行った。